

だんじょきょうどうさんかくおよ せい たようせい そんちよう かん しみんいしきちょうさ
男女共同参画及び性の多様性の尊重に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日頃から、豊橋市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊橋市では、性の多様性の尊重に関する規定を追加した「豊橋市男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくりを推進する条例」を令和5年4月に施行するとともに、「とよはしハーモニープラン 2023-2026」にて、男女共同参画の推進や性の多様性に関する社会的な理解促進等に取り組んでいます。

このたび、社会情勢の変化に対応した効果的な事業が行えるよう、市民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。調査の実施にあたり、市内在住で16歳以上の方、3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は令和6年3月までに取りまとめ、市ホームページや市役所内じょうほうひろばなどで公表する予定です。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただくとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、アンケートは無記名方式で、統計的に処理しますので、回答してくださった方にご迷惑をおかけすることはありません。

令和5年8月

豊橋市長 浅井 由崇

男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会を実現するためには・・・

全ての方が性別、性的指向、性自認にかかわらず、

- ① 人として尊重されること
- ② 個性と能力を十分に発揮することができること
- ③ 多様な生き方を認め合うこと
- ④ 社会の対応な構成員としてあらゆる分野における活動に参画できること

などが実現されることが必要です。（とよはしハーモニープラン 2023-2026 より）

■ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
2. 質問への回答は、案内にそって番号に○をつけていただくものがほとんどですが、内容によっては、数字を記入していただくこともあります。
回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容を（ ）に記入してください。
3. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
4. 記入後の調査票は無記名のまま、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和5年8月31日（木）までに返送してください。

※調査についてのお問い合わせは、以下の担当へお願いします。

担当：豊橋市役所市民協創部市民協働推進課

電 話：0532-51-2188

F A X：0532-56-5128

1 男女の平等感について

《全員にお聞きします》

問1. 社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されている | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている | 5. 女性の方が非常に優遇されている |
| 3. 平等である | 6. わからない |

《全員にお聞きします》

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
A~Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項 目		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
場 面	A 家庭	1	2	3	4	5	6
	B 職場	1	2	3	4	5	6
	C 学校	1	2	3	4	5	6
	D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
	E 政治の場	1	2	3	4	5	6
分 野	F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
	G しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6

《全員にお聞きします》

問2-1. 家庭において、どのような状態や人が「優遇」されていると思いますか。
次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 家事や育児などを得意（好き）な人が、家事や育児などを主に担当している状態 2. 家事や育児などを苦手（嫌い）な人が、家事や育児などを主に担当していない状態 3. 家事や育児などの負担が、家庭内で相対的に軽い人 4. 家庭内の役割分担を決めることができる人 5. 家庭内の様々なスケジュールを決めることができる人 6. 家庭内の大型電化製品の購入や旅行等のお金の使い道を決めることができる人 7. 家庭の代表者（世帯主） 8. 婚姻後も婚姻前の姓を使用している人 9. わからない |
|--|

2 男女の意思決定について

《全員にお聞きします》

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。

豊橋市における女性の参画状況（令和4年度）

項目	数値
市の審議会等に占める女性委員の割合	27.2%
市職員の管理職に占める女性の割合	19.3%
学校における管理・指導部門に占める女性教員の割合	41.3%
校区・町自治会の役員に占める女性の割合	8.8%
地域活動に参加している女性の割合	71.2%

その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識
2. 男性中心の組織運営
3. 女性の能力開発の機会が不十分
4. 女性の活動を支援する体制の不足
5. 女性が積極的ではない
6. 家族の支援・協力が無い
7. その他（具体的に： _____)
8. わからない

3 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問4. 次のA~Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。

平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。

（まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください）

項目	平日	休日
A 仕事（収入の得られる労働）	時間	時間
B 家事（掃除・洗濯・炊事など）	時間	時間
C 子育て（乳幼児から学生まで）	時間	時間
D 介護・看護	時間	時間
E ボランティア・NPO活動	時間	時間
F 地域活動（自治会の530運動・資源回収など）	時間	時間
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	時間	時間

《全員にお聞きします》

問5. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動(※)」の優先度について、**希望に最も近いもの**はどれですか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

※個人の活動とは文化活動、学習、趣味、付き合い等のことです。

1. 「家庭」を優先したい
2. 「仕事」を優先したい
3. 「地域・個人の活動」を優先したい
4. 「家庭」と「仕事」をともに優先したい
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
8. わからない

《全員にお聞きします》

問6. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、**現在の状況に最も近いもの**はどれですか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域・個人の活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」をともに優先している
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先している
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
8. わからない

4 男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問7. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. 反対する
2. どちらかといえば反対する
3. どちらかといえば賛成する
4. 賛成する
5. どちらともいえない

《全員にお聞きします》

問7-1. 問7で、そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものを
すべて選んで○をつけてください。

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も働いていたから
3. 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから
4. 妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5. 夫と妻の固定的な役割分担意識を押しつけるべきではないから
6. 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから
7. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
8. 子どもの頃からそうした教育をされているから
9. 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから
10. 社会全体にそうした風潮があるから
11. その他（具体的に： _____)

《全員にお聞きします》

問8. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを 1つだけ選んで○をつけてください。

1. 積極的にとったほうがよい
2. どちらかという、とったほうがよい
3. どちらかという、とる必要はない
4. とる必要はない
5. わからない

《問8で「3 どちらかという、とる必要はない」、「4 とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問8-1. そう思われる理由を次の中から すべて選んで○をつけてください。

1. 職場の理解が得られないから
2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
3. 取得後の職場復帰への不安があるから
4. 仕事の量や責任が大きいから
5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから
6. 女性のほうが育児・介護に向いているから
7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから
8. その他（具体的に： _____)
9. わからない

《全員にお聞きします》

問9. 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
2. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲内）で仕事に就くのがよい
4. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲を超える）で仕事に就くのがよい
5. 子どもができるまでは仕事をするのがよい
6. 結婚するまでは仕事をするのがよい
7. 女性は仕事をしない方がよい
8. その他（具体的に： _____)
9. わからない

《全員にお聞きします》

問10. 働くことを希望する女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護サービスの充実
3. 家事・育児などの支援サービス
4. 男性の家事などへの参加
5. 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境
6. 女性が働き続けることへの理解や意識改革
7. 長時間労働に対する職場環境の改善
8. 育児や介護を両立できる職場支援
9. その他（具体的に： _____)
10. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 1. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性がいます。

離職した女性が、再び社会で活動することを希望する場合に何を基準にすると思いますか。次の中からあてはまるものを 1つだけ 選んで○をつけてください。

1. これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
2. 新たな技能・スキルの資格を取得して、正社員として再就職する
3. 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
4. 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
5. これまでの経験を生かしてボランティアや NPO 活動で地域に貢献する（育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など）
6. これまでの経験を生かして企業または NPO の立上げを行う（小売店経営、IT 企業設立、ボランティア団体設立など）
7. 家事以外で活動する必要はない
8. その他（具体的に： _____)
9. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 2. 女性が研究者や技術者などの理工系分野の職業を目指すことについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを 1つだけ 選んで○をつけてください。

1. 賛成する
2. どちらかといえば賛成する
3. どちらかといえば反対する
4. 反対する
5. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 2 - 1. 問 1 2 でそう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものを すべて 選んで○をつけてください。

1. 職業と性別は関係ないから
2. 理工系分野に女性が求められており、就職がしやすいから
3. 理工系分野で活躍している女性が増えてきているから
4. 理工系分野の職業は給与が高いから
5. 女性は理工系分野に向いてないから
6. 理工系分野は女性の就職先がないから
7. 理工系分野で活躍しているイメージがない、わからないから
8. 理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから
9. 理工系分野の大学は学費が高いから
10. その他（具体的 _____)
11. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 3. 男性が、看護師・保育士等従来女性が多く就いていた分野の職業を目指すことについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを 1つだけ選んで○をつけてください。

1. 賛成する
2. どちらかといえば賛成する
3. どちらかといえば反対する
4. 反対する
5. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 3 - 1. 問 1 3 でそう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものを すべて選んで○をつけてください。

1. 職業と性別は関係ないから
2. 従来女性が多く就いていた分野に男性が求められており、就職がしやすいから
3. 従来女性が多く就いていた分野で活躍している男性が増えてきているから
4. 従来女性が多く就いていた分野の職業は給与が高いから
5. 男性は従来女性が多く就いていた分野に向いてないから
6. 従来女性が多く就いていた分野は男性の就職先がないから
7. 従来女性が多く就いていた分野で活躍しているイメージがない、わからないから
8. 従来女性が多く就いていた分野の職業は家庭との両立が困難だから
9. その他（具体的に)
10. わからない

《全員にお聞きします》

問 1 4. 豊橋市から大都市圏へ流出する状況が進んでいます。その理由について、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを すべて選んで○をつけてください。

1. 希望する仕事や勤め先がない
2. 給与水準の高い仕事がない
3. 希望する進学先（学部・学科）がない
4. 買い物環境に不満足
5. 娯楽・レジャー施設に不満足
6. 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている
7. 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている
8. 地域における男女役割分担意識が根強く残っている
9. その他（具体的に)
10. わからない

残り半分です♪

引き続きアンケートへのご協力をお願いします♪

5 生活について

《全員にお聞きします》

問15. 新型コロナウイルス感染症拡大（以下「コロナ禍」）前と比べ、コロナ禍の生活について変化がありましたか。

A～I の項目について、あてはまるものを 1つだけ 選んで○をつけてください。

【コロナ禍前（概ね 2019 年まで）とコロナ禍（概ね 2020 年から 2022 年の間）の比較】

項目		増えた	変わらない	減った	もともとしていない・ない
時間の 変化に ついて	A 仕事の時間	1	2	3	4
	B 家事の時間	1	2	3	4
	C 育児の時間	1	2	3	4
	D 介護の時間	1	2	3	4
不安感 につい て	E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感	1	2	3	4
	F 雇用（自営業の経営含む）の不安感	1	2	3	4
	G ところや身体に関する健康面の不安感	1	2	3	4
	H 家事・育児・介護の不安感	1	2	3	4
I 実際の収入の増減	1	2	3	4	

《全員にお聞きします》

問15-1. コロナ禍前と比べ、現在（5類感染症への引き下げ後）の生活について変化がありましたか。 家事・育児・介護の不安感

A～I の項目について、あてはまるものを 1つだけ 選んで○をつけてください。

【コロナ禍前（概ね 2019 年まで）と現在の比較】

項目		増えた	変わらない	減った	もともとしていない・ない
時間の 変化に ついて	A 仕事の時間	1	2	3	4
	B 家事の時間	1	2	3	4
	C 育児の時間	1	2	3	4
	D 介護の時間	1	2	3	4
不安感 につい て	E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感	1	2	3	4
	F 雇用（自営業の経営含む）の不安感	1	2	3	4
	G ところや身体に関する健康面の不安感	1	2	3	4
	H 家事・育児・介護の不安感	1	2	3	4
I 実際の収入の増減	1	2	3	4	

6 子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問 16. 子育ての方針について、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものを 1つだけ 選んで○をつけてください。

1. 男の子らしさ、女の子らしさととらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に： _____)
4. わからない

《全員にお聞きします》

問 17. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中から すべて 選んで○をつけてください。

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 男女の性の違いについての学習を充実する
3. L G B T 等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する
4. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
5. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
6. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
7. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
8. その他（具体的に： _____)
9. わからない

7 配偶者等からの暴力について

☞ DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

配偶者など親密な関係にある相手から受ける暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・経済的な暴力も DV に含まれます。

☞ 豊橋市 DV 相談とは・・・

豊橋市は、DV の被害者にとって身近で安心して相談できる窓口として、女性相談員による相談窓口を平成 26 年 6 月から開設しています。

電話相談	0532-33-9980 面接相談の予約は電話相	月～金曜日 9:00～15:00	祝休日・第3月曜 日・年末年始を除く
面接相談 (予約制)	談の実施時間と同時間帯 に受付	火、水、木曜日 9:30～15:30	祝休日・年末年始を 除く

《全員にお聞きします》

問 18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為（DV）を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 命の危険を感じるくらいの暴力や、医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
2. 平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた
3. 見たくないのに、ポルノ（アダルト）ビデオや雑誌を見せられた
4. いやがっているのに性的な行為を強要された
5. 避妊をしない性行為を強要された
6. 何を言っても無視され続けた
7. 実家や友人とつきあうのを制限したり、電話、SNSを細かく監視された
8. 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われたり、人格否定をされた
9. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした
10. 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた
11. 今までなかった

《問 18 で、1 から 10 を選んだ方にのみお聞きします》

問 18 - 1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為（DV）について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家族に相談した
2. 友人・知人に相談した
3. 行政機関に相談した（愛知県女性相談センター
豊橋市 DV 相談、市役所、ほいっぴ など）
4. 警察に連絡・相談した
5. 弁護士に相談した
6. 医師に相談した
7. 民間のカウンセリングルームに相談した
8. その他（具体的に： _____)
9. だれにも相談しなかった

《問 18 - 1 で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問 18 - 2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものを すべて 選んで○をつけてください。

1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 電話や対面では相談しにくいから（メール、LINE 等の SNS があれば相談できる）
4. 行政機関等の相談時間が合わないから
5. 相談しても解決できないと思ったから
6. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことでもないと思ったから
11. その他（具体的に： _____)

《全員にお聞きします》

問 19. 配偶者や交際相手からの暴力（DV）を防止するために必要と思うものを すべて 選んで○をつけてください。

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない

《全員にお聞きします》

問 20. 豊橋市に DV 相談（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

8 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」とは・・・

ライフポートとよはし内にある男女共同参画推進のための拠点施設です。さまざまなテーマの講座や女性のための相談事業などを行っています。また、定員100名の研修室をはじめ図書室、調理実習室、美術工芸室、フィットネスルームなどを備え、女性だけでなく男性や企業の方にもご利用いただける施設となっています。

《全員にお聞きします》

問21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

- | | | |
|-------|--------|---------------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 利用したことはないが、知っている |
|-------|--------|---------------------|

《問21で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 女性のための講座・催し物 |
| 2. 男性のための講座・催し物 |
| 3. 家族と一緒に参加できる講座・催し物 |
| 4. 事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座 |
| 5. 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座 |
| 6. 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座 |
| 7. 情報収集・発信設備、図書の充実 |
| 8. その他（具体的に： _____) |
| 9. 特にない |

あと残りもう少しです♪

9 男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会について

《全員にお聞きします》

問22. 次の用語について知っていましたか。A～Hのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
B デートDV	1	2	3
C LGBT 等性的少数者	1	2	3
D 性的指向・性自認	1	2	3
E パートナーシップ制度	1	2	3
F ジェンダー	1	2	3
G アンコンシャス・バイアス	1	2	3
H SOGI	1	2	3

ワーク・ライフ・バランスとは・・・

やりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できることです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

デートDVとは・・・

特に交際中の相手から受ける暴力のことで、高校生、大学生など若年層の間にも被害が及んでいます。メールを頻繁に送るなど恋人を監視、束縛する行為もデートDVです。

LGBT等性的少数者とは・・・

性の在り方が典型的な男女とは異なる人々の総称。LGBTとは、「L」を女性同性愛者（レズビアン）、「G」を男性同性愛者（ゲイ）、「B」を両性愛者（バイセクシャル）、「T」を自らの性同一性（心と身体）に違和感を感じる者（トランスジェンダー）としてそれぞれの頭文字で示した言葉であり、それ以外にも性的少数者は存在します。

性的指向・性自認とは・・・

「性的指向」は、自己の恋愛や性愛の対象となる性別についての指向を指します。また、「性自認」は自己の性別についての認識を指します。性の要素はそれぞれ独立していて、その組み合わせによって、様々なセクシュアリティ（性のあり方）が形づくられます。

パートナーシップ制度とは・・・

互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約した、一方又は双方がLGBT等性的少数者である2人に対して、地方自治体が婚姻と同等のパートナーシップであることを承認する制度です。豊橋市では令和3年4月1日より開始しています。

ジェンダーとは・・・

生物学的な性別に対し、社会的・文化的につくられる性別のことで、男らしさ、女らしさといった言葉で表現されるものです。

アンコンシャス・バイアスとは・・・

誰もが潜在的に持っている思い込みのことです。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていきます。

SOGIとは・・・

性的志向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字をとった言葉で、どんな性の人を好きになるか（好きにならない も含みます）、また、自分がどんな性だと感じるか（特定の性と感じない も含みます）、ということです。全ての人を対象としている言葉です。

《全員にお聞きします》

問 23. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う
2. 女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する
3. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う
4. 女性の採用拡大や職域拡大、再就職支援につながる取組（資格取得支援など）を進める
5. 労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う
6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
7. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
8. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
9. 配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない

《自由意見》

- その他、男女共同参画及び性の多様性の尊重に関して、ご意見をお書きください

10 あなた自身のことについて

※アンケートを統計的に分析するために、令和5年8月1日現在の状況を必ずご回答ください。

A あなたの性別について教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他 ()
-------	-------	------------

B あなたの年代（年齢）を教えてください。

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。**1つだけ**選んで○をつけてください。
(2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。)

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業	5. 正社員・正職員（管理職）	11. 専業主婦・専業主夫
2. 商・工・サービスの自営業主	6. 正社員・正職員（管理職以外）	12. 学生
3. 自由業（作家、芸術家など）	7. 派遣・契約社員	13. その他（年金生活者、失業中の方など）
4. 上記「1～3」の家族従業者	8. パートタイム・アルバイト	
	9. 内職	
	10. その他 ()	

D あなたに配偶者はいますか。

1. いる（事実婚や別居中を含む）	2. いない（死別や離婚を含む）
-------------------	------------------

↓

《Dの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えた方にのみお聞きします》

D-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。

1. 共働きをしている（2人とも正社員）	2. 共働きをしている（一方が正社員）
3. 共働きをしている（2人とも正社員ではない）	4. 共働きをしていない

E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。**1つだけ**選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ（一世代家族）
3. 親と子（二世帯家族）	4. 親と子と孫（三世帯家族）
5. その他（具体的に：)	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました♪

この用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和5年8月31日（木）までに返送してください。